

レジメン名称:フルオロウラシル(d1-5)+シスプラチン(d1)+オブジーボ(d1) q4w 食道癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日	1 コース 4 週間																								
		Day 1	2	3	4	5	・	8	・	・	・	・	・	・	・	15	・	・	・	・	22	・	・	・	29		
オブジーボ	480 mg/body	↓																									
シスプラチン	80 mg/m ²	↓																									
フルオロウラシル	800 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓	5 日間持続投与																				

レジメンオーダー以外に必要な処方

Day1～：アプレピタントセット 1 シート、1×朝食後、1 日目はレジメン通りに

Day2-5：内服 デカドロン 8mg 1×朝食後 4 日分

注意事項 初日のフルオロウラシル投与時は同時に輸液負荷投与があります。 シスプラチン：尿測指示を確認して下さい。

オブジーボのルートにはフィルター付き輸液セットを使用

オブジーボ：インフュージョンリアクション（気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど）に注意。

初回および 8 週以上あいた時：心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり（詳細は投与方法の項を参照）

CV ポート使用時は、微粒子発生リスク低減のため、レジメンどおりに生食でルートキープし、オブジーボはレジメンどおりの希釈濃度で投与してください。

特に注意する副作用

間質性肺炎患、重症筋無力症・心筋炎・筋炎・横紋筋融解症、大腸炎・重度の下痢、1 型糖尿病、免疫性血小板減少性紫斑病肝機能障害・肝炎、甲状腺機能障害、神経障害、腎障害、副腎障害、脳炎、重度の皮膚障害、静脈血栓塞栓症、インフュージョンリアクション

投与方法：0 日目（前負荷 0 日目、抗がん剤点滴投与日を 1 日目として記載）		
1	14:00	ケモセーフロックの フィルター付き 点滴セットを使用 ソルデム 1 500mL 3 時間かけて点滴、メインルートから投与 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	17:00	ソルデム 3A 500mL 3 時間かけて点滴、メインルートから投与
3	20:00	ソルデム 1 500mL 4 時間かけて点滴、メインルートから投与

投与方法：1 日目		
1	0:00	生食 500mL 10 時間かけて点滴、メインルートから投与
2	10:00	オブジーボ 480 mg, 生食 40 mL (生食 100 のボトルを使用) ※フィルターを通すこと 30 分かけて点滴、メインルートから投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
3	10:30	生食 100 mL 30 分かけて点滴、メインルートから投与、ウォッシュアウト
4	11:00	フィジオ 140 500mL、硫酸 Mg 補正液 7 mL 60 分かけて点滴、メインルートから投与

5	12:00	生食 500mL 60 分かけて点滴、メインルートから投与 <u>次のグラニセトロンはこの生食開始 30 分後に開始</u>	※アプレピタント内服
6	12:30		グラニセトロン(3mg/100mL)1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 3A 30 分かけて点滴、 下の側管から <u>5 の生食開始 30 分後に開始</u> (生食とグラニセトロンは同時投与)
7	13:00	<u>※終わったらメインルートを止める</u>	マンニトール S 300mL 1V <u>※フィルターは通さないこと</u> 30 分かけて点滴、下の側管から投与
8	13:30	<u>シスプラチン</u> mg、生食、全量 500 mL	120 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与
9	15:30	<u>フルオロウラシル</u> mg、生食 500 mL 24 時間かけて点滴 <u>ソルデム 1 と同時に開始</u> ケモセーフロックのルートより投与	ソルデム 1 500mL <u>フルオロウラシルと同時に開始</u> 4 時間 30 分 かけて点滴、下の側管から投与
10	20:00		ソルデム 3A 500mL <u>フルオロウラシルと同時投与</u> 4 時間かけて点滴、下の側管から投与

投与方法：2 日目			
1	0:00		ソルデム 1 500mL <u>フルオロウラシルと同時投与</u> 6 時間かけて点滴、下の側管から投与
2	6:00		ソルデム 3A 500mL <u>フルオロウラシルと同時投与</u> 4 時間かけて点滴、下の側管から投与 <u>※終わったらルートを止める</u>
	10:00		
3	15:30	<u>フルオロウラシル</u> mg、生食 500 mL 24 時間かけてケモセーフロックのルートより	

投与方法：3－5 日目			
1	15:30	<u>フルオロウラシル</u> mg、生食 500 mL 24 時間かけてケモセーフロックのルートより	

投与方法：6 日目			
1	終了時	生食 20mL ルートウォッシュアウト、ゆっくり	下の側管から